資料２

令和７年度

# 第３期宝達志水町創生総合戦略
# 実施状況報告書

子育ていいじ↗ ほうだつしみず

# ― 目　次 ―


基本目標１　結婚・出産・子育ての希望を叶える　1

施策）1-1　切れ目のない子育てサポート　3

施策）1-2　ライフステージに応じた経済支援　4

施策）1-3　主体的に学ぶ教育の推進　6

施策）1-4　豊かな人間性を育む学びの推進　8

基本目標２　稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする　9

施策）2-1　企業誘致や新たな雇用創出への支援　11

施策）2-2　ふるさと納税の推進　11

施策）2-3　地域の特色を生かした農業振興　12

基本目標３　本町とのつながりを築き、新しいひとの流れをつくる　13

施策）3-1　移住・定住の促進　15

施策）3-2　生活基盤の充実　16

施策）3-3　スポーツ交流の推進　17

施策）3-4　ふるさと観光の振興　18

基本目標４　ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる　21

施策）4-1　災害に強いまちづくり　23

施策）4-2　地域コミュニティの充実　24

施策）4-3　高齢者が安心して暮らせる環境の整備　25

施策）4-4　健康づくりの推進　27

施策）4-5　循環型まちづくりの推進　28

基本目標５　デジタルの力で誰もが便利で快適に暮らせるまちをつくる　29

施策）5-1　情報発信力の強化　31

施策）5-2　地域社会のデジタル化の推進　31

数値目標・KPI進捗状況一覧　33

人口等の推移　39

## 基本目標１

# 結婚・出産・子育ての希望を叶える

＜施策＞

1-1　切れ目のない子育てサポート

1-2　ライフステージに応じた経済支援

1-3　主体的に学ぶ教育の推進

1-4　豊かな人間性を育む学びの推進

| 施策 | 1-1　切れ目のない子育てサポート<br>こども家庭センターを設置し、妊娠・出産・子育てに関する包括的な支援を提供します。相談体制の整備や子育て支援サービスの充実を図り、安心して子育てができる環境の整備を推進します。 |
|---|---|

| 重要業績評価指標（KPI） | | 基準値 | 参考値 | 計画期間 | | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | |
| 宝っ子すくすくアプリ登録件数 | 目標値 | 181件 | → | → | → | → | → | 330件 | |
| | 実績値 | 181件 | 226件 | 235件 | | | | | |
| 産後うつ病傾向の人の割合 | 目標値 | 5.6% | → | → | → | → | → | 5.0%以下 | |
| | 実績値 | 5.6% | 4.5% | 10.3% | | | | | |
| 保育所利用保護者の満足度 | 目標値 | 97.0% | → | → | → | → | → | 98.0% | |
| | 実績値 | 97.0% | 94.7% | 94.3% | | | | | |

| 具体的な取組 | 取組内容および今後の展開 | 決算額（千円） | 内部評価 |
|---|---|---|---|
| 1-1-①<br>充実した相談体制の整備<br><br>担当課　子育て応援室 | 【令和7年度の取組内容】<br>＜訪問事業＞<br>乳児家庭全戸訪問：出産後４か月以内に全数訪問を実施。　R6：45人、R7：31人<br>養育支援訪問：要支援者へ継続訪問を実施。　R6：2人、R7：5人<br>＜相談・教室事業＞<br>プレパパママ教室：妊婦とその家族に対して健康教育、個別相談を実施。　R6：14人、R7：10人<br>助産師相談：月１回助産師と保健師による個別相談を実施。　R6：28 人、R7：29人（延べ）<br>すこやか子育て相談：心理士と保健師による個別相談を実施。　R6：13人、R7：6人（延べ）<br>＜宝っ子すくすくアプリ＞<br>母子モを活用し、健診や相談事業の情報配信等を実施。（妊娠届出時に全数案内）<br>アプリ登録件数　R6：226件、R7：235件<br><br>【今後の展開】<br>今後も全数訪問や相談事業を継続し、妊娠期から出産・子育て期まで切れ目なく要支援者の把握や早期支援介入に努める。<br>宝っ子すくすくアプリは、現在の情報配信などの機能に加え、R8年8月からアプリからの妊娠届出（電子申請）ができるようデジタル化予定。 | 603 | ○ |
| 1-1-②<br>乳幼児健康診査<br><br>担当課　子育て応援室 | 【令和7年度の取組内容】<br>生まれてから就学するまで、切れ目なく子どもの成長発達と家族をサポートする機会を設けている。<br>（下表）<br><br>【今後の展開】<br>保育所との連携や、就学を見据え教育委員会と連携など、子どもの成長発達と、過ごしやすさを守るため、乳幼児健康診査後も継続して、多職種で見守っていく。 | 1,632 | ○ |
| 1-1-③<br>児童遊戯施設の整備、管理<br><br>担当課　子育て応援室 | 【令和7年度の取組内容】<br>町民センターアステラス敷地内にある児童遊戯施設の管理業務を、宝達志水町社会福祉協議会に委託。第１期こども計画策定にあたり、小中学生や保護者、若者にアンケートをとり、子どもの遊び場に関する意見を聞いた。<br><br>【今後の展開】<br>屋内児童遊戯施設については、公共施設統廃合による施設の活用も含めて再検討する。開設に向け、国の交付金を活用し、遊び場だけでなく、賑わい創出や地域づくりの観点から庁内プロジェクトチーム(仮){生涯学習課、企画情報課、財政課、商工観光課、子育て応援室等}を作り、意見を集約し、施設の規模や機能などを検討していく必要がある。 | 965 | ○ |
| 1-1-④<br>保育環境の充実<br><br>担当課　子育て応援室 | 【令和7年度の取組内容】<br>年齢に応じてリトミック教室やキッズスポーツ教室、英語教室（年８回ずつ）を行っている。また、４・５歳児を対象としたフッ化物洗口うがいを実施した。<br>インターネットを利用し、工作やダンス・英語教育などの幼児教育に活用した。<br>コドモンを活用した登園管理や出欠連絡・アンケート機能・写真販売等を行った。電話対応や手書きの集計作業を削減して、保育士の負担を大幅に削減した。保護者もアプリで手軽に連絡や写真閲覧ができ、双方の連携が強化される。<br><br>【今後の展開】<br>ICTを活用した幼児教育の取組内容を検討し、保育士の業務負担減や保育の質のさらなる向上を図るとともに、こども園の独自性を図る。 | 376,858 | ◎ |

| | 1か月児(個別) | 4か月児(集団) | 10か月児(個別) | 1歳6か月児(集団) | 3歳児(集団) | 5歳児(集団) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| R6 | 43人(95.6%) | 33人(100%) | 39人(95.1%) | 32人(100%) | 50人(100%) | 41人(89.1%) |
| R7 | 30人(100%) | 39人(97.5%) | 29人(76.3%) | 40人(100%) | 46人(97.9%) | 48人(92.3%) |

| 施策 | 1-2　ライフステージに応じた経済支援<br>結婚、妊娠、子育てを希望する人の経済的負担を軽減し、希望を持って取り組むことができる環境の整備を推進します。 |
|---|---|

| 重要業績評価指標（KPI） | | 基準値 | 参考値 | 計画期間 | | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | |
| 年間出生数 | 目標値 | 38人 | → | → | → | → | → | 43人 | |
| | 実績値 | 38人 | 43人 | 28人 | | | | | |
| 子育てしやすいと感じている世帯の割合 | 目標値 | 43.3% | → | → | → | → | → | 53.0% | 調査未実施により未把握 |
| | 実績値 | 43.3% | — | — | | | | | |

| 具体的な取組 | 取組内容および今後の展開 | 決算額（千円） | 内部評価 |
|---|---|---|---|
| 1-2-①<br>婚活サポート<br>担当課：子育て応援室 | 【令和7年度の取組内容】<br>(1) 町結婚相談窓口の開設　1回（4月）<br>(2) 結婚アドバイザーの活動内容<br>(ア) 面接相談：10回<br>(イ) 結婚希望登録者閲覧：40回<br>(3) 成婚の状況：お見合い２組、成婚１組<br><br>【今後の展開】<br>(1) 結婚アドバイザーの高齢化が進み人材不足である。<br>(2) 今後も、いしかわ結婚支援センターと連携し、県内全域を対象とした縁むすび（出会い・結婚）の促進に努める。 | 220 | ○ |
| 1-2-②<br>不妊治療・不育治療に対する助成<br>担当課：子育て応援室 | 【令和7年度の取組内容】<br>(1) 不妊治療費助成<br>(ア) 町独自事業<br>保険適用として実施した特定不妊治療費について、1回につき上限2万5千円まで 助成。（年3回まで）<br>＜実績＞ R4:4件、R5:6件、R6:3件、R7:6件<br>(イ) 補助事業<br>(1)に付属して実施した先進医療費について、1回につき上限15万円まで助成。<br>＜実績＞ R4:0件、R5:4件、R6:2件、R7:2件<br>(2) 不育治療費助成<br>1年度につき上限30万円までを助成。<br>＜実績＞R4:1件、R5:2件、R6:0件、R7:2件<br><br>【今後の展開】<br>これからも、住民のニーズや、他市町の状況を確認しながら、助成内容の拡充を検討していく。 | 272 | ○ |
| 1-2-③<br>出産・成長祝い金<br>担当課：子育て応援室 | 【令和7年度の取組内容】<br>町の宝である子どもたちの成長を祝うとともに、子育て支援の一環として子どもの出生と成長に合わせた祝金を贈り、人口減少の防止、若年層の定住化と町民の増加を図る。<br>＜出産祝い金＞<br>対象者：出産日の１年前から住所がある、または出産日後１年間住所がある人<br>助成額：一律15万円（現金10万円＋町商品券5万円）<br>実　績：R5：34件、R6：39件、R7：29件<br>＜成長祝い金＞<br>対象者：当該年度に6歳、12歳、15歳、18歳に達する児童・生徒の保護者で、１年以上住所がある人<br>助成額：一律　3万円<br>実　績：R5：344件、R6：305件、R7：286件<br><br>【今後の展開】<br>令和６年度に成長祝い金の申請をオンライン申請にしたことで、対象者の負担軽減や事務の効率化を図ることが出来たため、令和７年度からは出産祝い金の申請もオンラインに変更し、時間の制限なくいつでも申請が可能となるよう、対象者の負担軽減に努めた。今後も子育て世帯への経済的支援として、事業を継続していく。 | 12,979 | ○ |
| 1-2-④<br>保育料、保育所副食費の無償化<br>担当課：子育て応援室 | 【令和7年度の取組内容】<br>保育料・保育所副食費の無償化を推進し、子育て世帯の経済的負担を軽減することで、安心して保育サービスを利用できる環境を整え、子育てしやすいまちづくりを図る。<br>令和６年10月から南部・中央保育所で主食提供を試験的に開始していたが、令和７年4月より全保育所で主食の提供を実施した。<br><br>【今後の展開】<br>今後も子育て世帯への経済的支援として、事業を継続していく。 | 376,858 | ◎ |

| 具体的な取組 | 取組内容および今後の展開 | 決算額（千円） | 内部評価 |
|---|---|---|---|
| 1-2-⑤<br>小学校給食費無償化<br>担当課　学校教育課 | 【令和7年度の取組内容】<br>町内に住所を有する児童生徒の保護者を対象に、給食費の無償化を実施している。<br>また、町外の学校へ通学する児童生徒の保護者に対しては、給食費助成制度の対象となる旨を３月に通知し、基準額（小学校：49,500円/中学校：56,100円）を上限として助成を行い、保護者の経済的負担の軽減を図った。<br>＜実績＞R7 交付件数： 6 件 交付決定額：291,000円<br><br>【今後の展開】<br>現在、町外から町内の学校へ通学する児童生徒の保護者から給食費を徴収しているが、国の給食費負担軽減交付金が小学校設置者に交付されることに伴い、令和８年度から町外から通学する小学生の保護者についても給食費を徴収しないこととし、保護者の経済的負担のさらなる軽減を図る。 | 104,959 | ◯ |
| 1-2-⑥<br>子ども医療費、医療的ケア児のサポート<br>担当課　子育て応援室 | 【令和7年度の取組内容】<br>(1) 子ども医療費助成<br>「子ども医療費受給者証」を発行し、県内の医療機関窓口で受給者証を提示することで、医療費の自己負担を無料（現物給付）としている。<br>(2) 医療的ケア児<br>20歳未満の医療的ケア児を持つ養育者に対し、日常的な消耗品費の負担軽減を図るため月額6千円を支給する。（支給月：4月、10月の年2回）令和6年度に月額4,000円で開始したが、令和7年度に拡充を図り、経済的負担に努めた。<br><br>【今後の展開】<br>(1) 子ども医療費助成<br>マイナ保険証で医療費助成の資格確認ができるようにするため 、自治体・医療機関等をつなぐ情報連携システム（PMH）の構築を進めていく。<br>(2) 医療的ケア児<br>養育者の負担を確認しながら、今後もニーズに応じて拡充を検討していく。 | 32,228 | ◯ |
| 1-2-⑦<br>インフルエンザ予防接種費用助成<br>担当課　子育て応援室 | 【令和7年度の取組内容】<br>感染症の蔓延、重症化予防としてインフルエンザワクチンを接種した場合の費用を一部助成。<br>(1) 子ども<br>助成額： 1 回につき2,000円　　対象・回数： 1 歳～小学生： 2 回、中学生～高校生： 1 回<br>接種率：R6　小学生まで：44.3%、中学生：36.1%、高校生：20.8%<br>R7　小学生まで：36.1%、中学生：33.8%、高校生：22.6%<br>(2) 妊婦<br>助成額： 1 回につき上限2,000円　R6:2件、R7:2件<br><br>【今後の展開】<br>R5年度に助成額を1,500円から2,000円に増額し、R6年度には助成対象を中学生から高校生までに拡充と妊婦インフルエンザの助成を開始した。今後も住民のニーズを踏まえながら、助成の拡充について検討していく。 | 1,259 | ◯ |

| 施策 | 1-3　主体的に学ぶ教育の推進<br>子どもたちが学ぶこと自体を楽しみ、自らの興味や関心に基づいて学びを深める姿勢を育むことを推進します。 |
|---|---|

| 重要業績評価指標（KPI） | | 基準値 | 参考値 | 計画期間 | | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | |
| 中学生の英検3級以上の取得率 | 目標値 | 20.0% | → | → | → | → | → | 70.0% | |
| | 実績値 | 20.0% | 19.0% | 27.4% | | | | | |
| 自分で勉強の仕方を考え、工夫することが出来る児童生徒の割合 | 目標値 | — | → | → | → | → | → | 80.0% | |
| | 実績値 | — | 88.4% | 88.4% | | | | | |
| AIドリルの使用割合 | 目標値 | — | → | → | → | → | → | 80.0% | |
| | 実績値 | — | — | 80.0% | | | | | |

| 具体的な取組 | 取組内容および今後の展開 | 決算額（千円） | 内部評価 |
|---|---|---|---|
| 1-3-①<br>宝たち検定チャレンジ<br><br>担当課　学校教育課 | 【令和7年度の取組内容】<br>英語検定（英検Jr.を含む）・漢字検定・数学（算数）検定・理科検定を受検した町内小中学校に在籍する児童生徒の保護者を対象に、準2級以上は検定料の全額、3級以下は検定料の半額を補助する。<br>令和7年度は中学1年生の英検5級全員受検に加えて、中学2年生の英検4級全員受検、中学3年生の英検3級全員受検に対し、年度中1回に限り全額補助する。<br>また、英検・数検・理検5級以上または漢検4級以上に合格した小学生、準2級以上に合格した中学生を表彰する。<br><br>【今後の展開】<br>令和8年度から小学生の英検3・4級受検料を年度中1回に限り全額補助する。<br>小学6年生の英検5級全員受検を実施する。<br>新規に小学校でも団体受検を実施する。<br>小学生の表彰対象を4級以上に引き上げる。<br>申請時に振込口座の写しを不要とし、町内小中学校で受検した場合は、申請書の提出も不要とする。<br>令和9年度からは、英検3級以上の合格率を高めるために、中学1年生の英検5級、中学2年生の英検4級全員受検を廃止するかわりに、中学1年生の英検3・4級受検、中学2年生の英検3級受検において、年度中1回に限り全額補助する。<br>英検3級の受検機会を早めることにより、受検機会が増え合格できるチャンスを増やすことで、3級以上の取得率増加を目指す。また、早く英検3級に合格した生徒の準2級以上に挑戦するチャンスを増やすことで、準2級以上の取得率増加を目指す。 | 1,036 | ◎ |
| 1-3-②<br>学びの意識改革の支援<br><br>担当課　学校教育課 | 【令和7年度の取組内容】<br>(1) 小学校<br>①科学実験教室・算数教室　②サッカー授業サポート　③東大セミナー特別講座　④走りの学校<br>⑤紋平柿収穫体験　⑥防災体験教室　⑦箔押し体験<br>(2) 中学校<br>①西岡壱誠氏講演会　②東大セミナー特別講座　③学習サポーター　④受験応援マグネット贈呈<br>(3) 小中学校共通<br>①学級経営アドバイザー　②教員先進地視察　③地域教育サポート　④北國デジタル利用<br><br>【今後の展開】<br>今後は、確かな学力の定着に加え、豊かな人間性や社会的に生き抜く力の土台となる「非認知能力の強化」を重点項目として推進する。<br>これまでの「紋平柿収穫体験」や「箔押し体験」といった地域文化の理解に加え、困難を乗り越える力や協調性を育む体験活動の拡充で主体性や粘り強さを育む。<br>また、「東大セミナー特別講座」や「西岡壱誠氏講演会」で培った学びへの意識をさらに発展させ、児童生徒同士が議論・協働する探究的な学習を推進し、自ら問いを立て、解決するプロセスを通じて自己肯定感やコミュニケーション能力を高める。<br>「教員先進地視察」や「学級経営アドバイザー」の活用を継続し、教員自身が非認知能力の育成手法に対する知見を深め、児童生徒を多角的に評価・支援できる体制を構築する。<br>これまでの基礎学力向上と意識改革の実績の上に、主体性・協調性・やり抜く力といった非認知能力に力の育成を融合させ、子どもたちの「生き抜く力」を総合的に育む。 | 5,635 | ○ |

| 具体的な取組 | 取組内容および今後の展開 | 決算額（千円） | 内部評価 |
|---|---|---|---|
| 1-3-③<br>デジタル教育の充実<br><br>担当課　学校教育課 | 【令和7年度の取組内容】<br>　１人１台端末として整備された学習用端末の一括更新（５年に一度）の実施とともに、アクセスポイント等の校内通信ネットワークの強化を検討。各学校においてはICT支援員を配置し、授業で端末を使用する際の補助を行うなど、教職員をサポートする体制整備を行った。<br>　また、情報の収集や理解、共有及び個別の学びのツールとして１人１台端末の日常的な利活用を図るとともに、AIドリルを導入し様々な場面で活用することで、児童生徒の学習意欲の向上及び学習環境の整備に努めた。<br><br>【今後の展開】<br>(1) １人１台端末の積極的活用<br>　端末の活用するタイミングを児童生徒が自ら選び、積極的に学習に取り組む姿を育てる。<br>　授業内での１人１台端末の活用頻度を高めるため、校内及び町内における教職員研修の実施を検討し、端末の利活用を促す。<br>(2) 個別最適な学び<br>　これまで以上に児童生徒の成長やつまずき、悩み等の理解に努め、きめ細やかな指導を行う。<br>　また、児童生徒が自らの学習状況を把握することで、主体的に学習を調整することができるよう促す。<br>　自らの理解度、速度に合わせて課題に取り組めるAIドリルも継続して活用する。<br>(3) 協働的な学び<br>　児童生徒が発表する場面等で端末を活用し、１人１人の能力、可能性を活かすことで、異なった考え方が組み合わさる、より良い学びを生み出す授業の実現を目指す。<br>(4) 学びの保障<br>　ICT機器やクラウドツールを活用することで、不登校や障がい等の、特別な支援を必要とする児童生徒の就学機会や学習条件の均衡、公平性の確保を図る。 | 41,929 | ◯ |

| 施策 | 1-4　豊かな人間性を育む学びの推進<br>次世代を担う子どもたちが心豊かに成長できる環境づくりを地域と協働で取り組んでいきます。 |
|---|---|

| 重要業績評価指標（KPI） | | 基準値 | 参考値 | 計画期間 | | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | |
| コミュニティスクールの開校数 | 目標値 | ― | → | → | → | → | → | 3校 | |
| | 実績値 | ― | 0校 | 2校 | | | | | |

| 具体的な取組 | 取組内容および今後の展開 | 決算額（千円） | 内部評価 |
|---|---|---|---|
| 1-4-①<br>コミュニティスクールの推進<br><br>担当課　生涯学習課 | 【令和7年度の取組内容】<br>令和７年度からコミュニティ・スクールを導入し、町内小学校で３回ずつの学校運営協議会を開催。<br>学校と地域が連携・協働し、地域全体で子どもたちの成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指す。具体的には、地域住民や団体による登下校の見守り、学習支援、環境整備などの活動を支援、調整を行う。<br><br>【今後の展開】<br>ボランティアの高齢化から、人員の減少が見られる。①広報やＣＳだよりでの募集、②既存のボランティアから積極的な声かけ、③地域学校協働活動推進員が地域と学校を結びつける役割をする必要がある。<br>令和１１年度までに中学校でコミュニティ・スクールを導入予定。 | 795 | ◯ |
| 1-4-②<br>国際交流事業<br><br>担当課　生涯学習課 | 【令和7年度の取組内容】<br>毎年8月にオーストラリア サンシャインコースト市 ヌーサのグッドシェパード・ルーゼラン校へ中高生（定員10名）を派遣し、ホームステイや体験入学などのプログラムで交流している。<br>また、隔年でグッドシェパード・ルーゼラン校の生徒を受け入れ、本町でホームステイをしながら、日本文化の体験や宝達中学校での体験入学を行っている。相互交流を深めることで、国際的視野を広げ、異文化を理解する力が育まれている。<br>令和7年度は8月8日～18日に中学生10名と引率3名を派遣し、9月20日～26日にグッドシェパード・ルーゼラン校の生徒14名と引率2名を受入れした。<br><br>【今後の展開】<br>引き続きオーストラリア ヌーサのグッドシェパード・ルーゼラン校との交流を通じて、中高生の国際感覚を養うための事業を継続していく。<br>事業に関心を持ち、参加希望者が増えるよう、ポスター掲示や広報、ホームページ、チラシの配布等で周知に努める。 | 8,845 | ◯ |

## 基本目標２

# 稼ぐ地域をつくるとともに、
# 安心して働けるようにする

＜施策＞

2-1　企業誘致や新たな雇用創出への支援

2-2　ふるさと納税の推進

2-3　地域の特色を生かした農業振興

## 施策 2-1　企業誘致や新たな雇用創出への支援

工場適地の整備を行い、企業誘致に向けたプロモーション活動を推進します。また、起業応援の助成制度、相談体制を充実させ、起業しやすい環境を構築します。新規産業の創出と成長を促進させることで持続可能な地域経済の発展を目指します。

| 重要業績評価指標（KPI） | | 基準値 | 参考値 | 計画期間 | | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | |
| 企業用地の整備 | 目標値 | 0㎡ | → | → | → | → | → | 10,000㎡ | |
| | 実績値 | 0㎡ | 0㎡ | 0㎡ | | | | | |
| 創業塾の受講者数 | 目標値 | 34人 | → | → | → | → | → | 50人 | ・基準値はR2→R5の累計件数<br>・目標値はR7→R11の累計件数<br>・各年度の実績値は直近5か年の累計件数 |
| | 実績値 | 34人 | 45人 | 43人 | | | | | |
| 創業・継承件数 | 目標値 | 11件 | → | → | → | → | → | 15件 | ・基準値はR2→R5の累計件数<br>・目標値はR7→R11の累計件数<br>・各年度の実績値は直近5か年の累計件数 |
| | 実績値 | 11件 | 21件 | 20件 | | | | | |

| 具体的な取組 | 取組内容および今後の展開 | 決算額（千円） | 内部評価 |
|---|---|---|---|
| 2-1-①<br>企業誘致事業<br>担当課：商工観光課 | 【令和7年度の取組内容】<br>工場用地の整備を検討しているが、整備方針は定まっていない。<br><br>【今後の展開】<br>企業からの問い合わせがあるため、町内への進出が決まれば、要望に合わせて対応する。 | 15,728 | △ |
| 2-1-②<br>起業・創業等バックアップ事業<br>担当課：商工観光課 | 【令和7年度の取組内容】<br>宝達志水商工会と連携し、宝達志水町創業塾2025を開催し、町内外の６名が受講した。<br>金融機関との連携についても、創業相談の情報共有を行いながら創業希望者の支援を実施した。<br>宝達志水町起業・創業支援事業補助金の申請について、６事業を認定し、３事業に対し交付した。<br>（※ 残りの３事業者はR8年度に交付。）<br><br>【今後の展開】<br>創業支援事業者との連携を密にし、引き続き創業支援を実施していく。 | 4,977 | ○ |

## 施策 2-2　ふるさと納税の推進

ふるさと納税の推進を通じて、町の魅力を発信し、地域経済の活性化を図ります。

| 重要業績評価指標（KPI） | | 基準値 | 参考値 | 計画期間 | | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | |
| 寄附金額 | 目標値 | 1,160百万円 | → | → | → | → | → | 2,000百万円 | |
| | 実績値 | 1,160百万円 | 1,820百万円 | 1,940百万円 | | | | | |

| 具体的な取組 | 取組内容および今後の展開 | 決算額（千円） | 内部評価 |
|---|---|---|---|
| 2-2-①<br>ふるさと納税推進事業<br>担当課：商工観光課 | 【令和7年度の取組内容】<br>令和７年度は、ふるさと納税の寄付受付サイトを６サイト追加し、寄付の取り込み方法を充実させたことや、新規返礼品提供事業者及び新規返礼品の開拓を進めたことなどにより寄付金額を増額させることができた。<br><br>【今後の展開】<br>近年のふるさと納税は、全国的に自治体間での競争が厳しくなっており、寄附金額を維持していくことも困難な状況となっている。<br>また、ふるさと納税制度を所管する総務省が毎年制度改正を行うため、遵守すべき内容も複雑化している。<br>今後については、ふるさと納税の寄付受付サイトを追加し、寄附の取り込み方法を充実させていくことや、新規返礼品の開拓を進めていくことで、寄附金額の増加を目指す。 | 833,852 | ◎ |

| 施策 | 2-3　地域の特色を生かした農業振興<br>特色ある農産物の振興や担い手の育成を積極的に推進し、生産体制の強化を図ります。また、農産物のブランド化を推進することで、付加価値を高め、産業の活性化を図ります。 |
|---|---|

| 重要業績評価指標（KPI） | | 基準値 | 参考値 | 計画期間 | | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | |
| 新規就農者数 | 目標値 | 2人 | → | → | → | → | → | 12人 | ・基準値はR2→R5の累計件数<br>・目標値はR7→R11の累計件数<br>・各年度の実績値は直近5か年の累計件数 |
| | 実績値 | 2人 | 2人 | 4人 | | | | | |
| ブランド化補助件数 | 目標値 | 61件 | → | → | → | → | → | 63件 | ・基準値はR2→R5の累計件数<br>・目標値はR7→R11の累計件数<br>・各年度の実績値は直近5か年の累計件数 |
| | 実績値 | 61件 | 85件 | 107件 | | | | | |
| スマート農業補助件数 | 目標値 | 1件 | → | → | → | → | → | 2件 | ・基準値はR2→R5の累計件数<br>・目標値はR7→R11の累計件数<br>・各年度の実績値は直近5か年の累計件数 |
| | 実績値 | 1件 | 1件 | 2件 | | | | | |

| 具体的な取組 | 取組内容および今後の展開 | 決算額（千円） | 内部評価 |
|---|---|---|---|
| 2-3-①<br>新規就農者支援<br>担当課：農林水産課 | 【令和7年度の取組内容】<br>令和4年度に4名が農業を目的とした地域おこし協力隊となった。そのうち2名が令和7年度に認定新規就農者となり、就農を開始した。また、それとは別に令和6年より町外在住者1名、令和8年4月より町外在住者2名が宝達志水町内でぶどうの新規就農を開始している。<br>また、経営発展支援事業で機械、施設を導入する制度があり、パイプハウスを導入した農業者が1名いる。<br><br>【今後の展開】<br>地域おこし協力隊が１名おり、町内のほ場で就農に向けた準備を進めている。 | 8,125 | ○ |
| 2-3-②<br>農産物等ブランド化推進<br>担当課：農林水産課 | 【令和7年度の取組内容】<br>「黒蜜姫」の販路拡大等を図るため9月に東京の高級果物専門店で生産者と6年連続となるPR活動を行った。また知名度向上のために黒蜜姫のPR看板を町内３カ所（荻市交差点、宝達駅東口、米出IC出口付近）に設置した。<br>また農産物ブランド化促進の支援として令和７年度　産地づくり２２件、　農産物ブランド化推進事業２件（出荷箱作成、PRまんが作成）農業者に補助を行った。<br><br>【今後の展開】<br>「黒蜜姫」の販路拡大等を図るため引き続き東京の高級果物専門店で生産者とPR活動を行う。またR8年度までは、町独自の施策として「産地づくり事業」を展開し、ぶどう、いちじく、黒蜜姫、花木、紋平柿、すももといった特産品の生産量の確保を図るため、生産者やJA各部会に対し、可能な限り支援していく。 | 10,302 | ○ |
| 2-3-③<br>スマート農業の推進<br>担当課：農林水産課 | 【令和7年度の取組内容】<br>宝達志水町産地づくり事業補助金によりスマート農業（ロボット草刈り機）を導入した。<br>国による機械や施設に対する補助事業があり、その際にスマート農業にかかわる機械の導入をする事例もある。<br><br>【今後の展開】<br>引き続き宝達志水町産地づくり事業補助金および国による補助金を活用して支援していく。 | 10,302 | ◎ |

## 基本目標３

# 本町とのつながりを築き、
# 新しい人の流れをつくる

＜施策＞

3-1　移住・定住の促進

3-2　生活基盤の充実

3-3　スポーツ交流の推進

3-4　ふるさと観光の振興

| 施策 | 3-1　移住・定住の促進 |
|---|---|
| | まちの魅力を積極的に発信し、移住支援を充実させることで、移住者の増加を図ります。また、住宅取得者に対する経済的支援を充実させるとともに、特に若い世帯の定住を促進し、地域経済の活性化を図ります。 |

| 重要業績評価指標（KPI） | | 基準値 | 参考値 | 計画期間 | | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | |
| マイホーム取得奨励金件数 | 目標値 | 108件 | → | → | → | → | → | 150件 | ・基準値はR2→R5の累計件数<br>・目標値はR7→R11の累計件数<br>・各年度の実績値は直近5か年の累計件数 |
| | 実績値 | 108件 | 155件 | 153件 | | | | | |
| 町外転入加算対象件数 | 目標値 | 72件 | → | → | → | → | → | 100件 | ・基準値はR2→R5の累計件数<br>・目標値はR7→R11の累計件数<br>・各年度の実績値は直近5か年の累計件数 |
| | 実績値 | 72件 | 78件 | 70件 | | | | | |
| 暮らし体験件数 | 目標値 | 158件 | → | → | → | → | → | 180件 | ・基準値はR2→R5の累計件数<br>・目標値はR7→R11の累計件数<br>・各年度の実績値は直近5か年の累計件数 |
| | 実績値 | 158件 | 176件 | 167件 | | | | | |

| 具体的な取組 | 取組内容および今後の展開 | 決算額（千円） | 内部評価 |
|---|---|---|---|
| 3-1-①<br>移住促進事業<br>担当課：企画情報課 | 【令和7年度の取組内容】<br>関係人口、移住支援等を行う株式会社ぶなの森と連携　移住を検討されている方を対象に、宝達志水町で「暮らし体験」を実施（１泊２日～最大３泊４日）。総務省地域力創造アドバイザー高瀬氏と連携。<br>※R7移住者　2組5名<br><br>【今後の展開】<br>移住コーディネーター、地域力創造アドバイザーと密に連携し、まちの魅力発信を行う。<br>都市部でのプロモーション企画（R8.7.3東京都において関係人口創出イベントを開催）を実施し、宝達志水町や特産物のPRを行う。 | 9,220 | ○ |
| 3-1-②<br>マイホーム取得奨励金<br>担当課：企画情報課 | 【令和7年度の取組内容】<br>町内に定住を希望する方への支援や地域経済の活性化を促進するため、町内に住宅を新築・購入して生活する方を対象に、最大300万円の奨励金を交付する。<br>(1) 対象者　住宅登記の持ち分が1/2以上。市町村税に滞納がないこと。下水道接続済みであること。<br>(2) 対象住宅　新築住宅、建売住宅、中古住宅（建て替えは対象外）<br>(3) 支援内容　基本額150万円<br><加算措置> 45歳以下転入者1人につき20万（限度額100万円）<br>町内業者活用50万円<br>(4) R7実績　30件（うち転入者17件）<br><br>【今後の展開】<br>昨今の建築資材・人件費の高騰による新築住宅の価格高騰という経済状況を踏まえ、新築を諦めた層をターゲットに、空き家バンクの登録数を増やすことも検討。 | 47,800 | ○ |
| 3-1-③<br>若者世代の定住の促進<br>担当課：企画情報課 | 【令和7年度の取組内容】<br>(1) 民間賃貸住宅家賃補助事業<br>ア　対象者　45歳以下の夫婦、ひとり親世帯（18歳未満の子が1人以上いること）<br>イ　支援内容　月額家賃の1/3補助（上限15,000円/月）※最大36か月間<br>ウ　R7実績　13件（うち新規5件）<br>(2) 若者通勤サポート事業助成金<br>ア　対象者　① 18歳以上30歳未満の人<br>② 勤務地までの通勤距離が片道25ｋｍ以上の人<br>イ　支援内容　年間2万円（定額）<br>ウ　R7実績　46件<br><br>【今後の展開】<br>家賃補助、通勤サポート補助を切り口として、若者世代に対する本町への移住・定住を後押しし、将来的にはマイホーム奨励金などを利用し、定住につなげる。 | 2,715 | ○ |

| 施策 | 3-2　生活基盤の充実 |
|---|---|
| | 宅地造成の推進、民間賃貸住宅建設への補助を行い住宅供給の充実を図ります。また、多様な住宅ニーズに対応するため、空き家の利活用を進めます。 |

| 重要業績評価指標（KPI） | | 基準値 | 参考値 | 計画期間 | | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | |
| 分譲区画数 | 目標値 | 2件 | → | → | → | → | → | 50件 | ・基準値はR2→R5の累計件数<br>・目標値はR7→R11の累計件数<br>・各年度の実績値は直近5か年の累計件数 |
| | 実績値 | 2件 | 0件 | 2件 | | | | | |
| 民間賃貸住宅建築件数 | 目標値 | 0件 | → | → | → | → | → | 5件 | ・基準値はR2→R5の累計件数<br>・目標値はR7→R11の累計件数<br>・各年度の実績値は直近5か年の累計件数 |
| | 実績値 | 0件 | 3件 | 3件 | | | | | |
| 空き家バンク登録物件の成立件数 | 目標値 | 51件 | → | → | → | → | → | 75件 | ・基準値はR2→R5の累計件数<br>・目標値はR7→R11の累計件数<br>・各年度の実績値は直近5か年の累計件数 |
| | 実績値 | 51件 | 79件 | 79件 | | | | | |

| 具体的な取組 | 取組内容および今後の展開 | 決算額（千円） | 内部評価 |
|---|---|---|---|
| 3-2-①<br>宅地造成の推進<br>担当課：企画情報課 | 【令和7年度の取組内容】<br>(1) 住宅政策の推進体制構築<br>企画情報課（計画）、地域整備課（整備）、財政課（販売）が連携し、計画段階から協議を行う体制を整え、推進している。<br>(2) 優先整備箇所の決定と着手<br>候補地について事業性を比較・協議した結果、「免田駅駐車場」を最優先箇所として選定し、具体計画を始動した。<br>(3) 民間企業との対話・情報収集の開始<br>「旧志雄中跡地」の活用に向け、民間事業者との意見交換・勉強会を実施し、開発協力やPFI等民間活力導入の可能性について情報収集を行った。<br>(4) 柳瀬地区における宅地造成<br>能登半島地震による被災者の住まい確保のため、柳瀬地内で宅地造成を実施（5区画）。令和7年10月から売却を開始し、2区画を被災者へ売却した。<br><br>【今後の展開】<br>(1) 免田駅駐車場の各種調査の実施<br>埋蔵文化財試掘調査（生涯学習課）および測量（地域整備課）をR8.6月に実施する。調査結果をふまえて着工に向けた詳細設計へと移行する。<br>(2) 各候補地の課題整理<br>基礎杭や下水道排水宅内管の残置、下水道未整備など、顕在化している課題について対策を検討する。<br>(3) 民間連携による展開準備<br>旧志雄中跡地の活用に向け、石川県工務店協会等との勉強会を継続し、民間のノウハウを生かした宅地造成計画を目指す。<br>(4) 柳瀬地区の宅地売却促進<br>残る3区画については、被災者に限らず全ての方を対象に売却を進めている。 | ― | ◯ |
| 3-2-②<br>民間賃貸住宅建設補助<br>担当課：地域整備課 | 【令和7年度の取組内容】<br>民間事業者等に対し、民間賃貸住宅の建築に係る本体工事の10％を補助（上限：5,000千円、補助率：1/2）<br>民間賃貸住宅の建設促進を図るにあたり、単身世帯向けも想定し、1戸あたりの延床面積の要件緩和（50㎡以上→30㎡以上）を行うため、補助金交付要綱を改正し、令和3年4月1日から施行した。HP等で制度を周知している。<br>民間賃貸住宅建設補助事業補助金として、令和7年度当初予算（1棟分、5,000千円）で予算化したが、令和7年度は実績なし。<br><br>【今後の展開】<br>引き続き、制度の周知に努め、民間賃貸住宅の建設促進を図る。 | 0 | × |
| 3-2-③<br>空き家バンク<br>担当課：企画情報課 | 【令和7年度の取組内容】<br>空き家バンク制度の周知を図るため、啓発チラシを固定資産税納税通知書に同封、また、石川県宅建協会による空き家無料相談会を年２回開催。<br>宝達志水町移住コーディネーターとの連携による登録物件の掘り起こし等を実施。<br>空き家バンク登録奨励金として、区の仲介により、空き家バンクに登録された場合、区と所有者に奨励金を２万円ずつ交付<br><br>【今後の展開】<br>町内に空き家はあるものの、所有者が手放さない、物件の老朽化、残置物など色々な問題がある。<br>空き家バンク制度、登録奨励金等の周知を更に行い、老朽する前、早い段階での物件確保を目指したい。<br>また、賃貸物件がないことから、移住者にとっては一軒家を購入することはハードルが高いため、賃貸物件の確保も必要。 | 757 | ◯ |

| 施策 | 3-3　スポーツ交流の推進<br>スポーツイベントの開催を通じて、スポーツによる交流人口の拡大を図るとともに、スポーツツーリズムの環境を整備します。 |
|---|---|

| 重要業績評価指標（KPI） | | 基準値 | 参考値 | 計画期間 | | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | |
| スポーツイベント参加人数 | 目標値 | 1,503人 | → | → | → | → | → | 2,000人 | |
| | 実績値 | 1,503人 | 324人 | 0人 | | | | | |

| 具体的な取組 | 取組内容および今後の展開 | 決算額（千円） | 内部評価 |
|---|---|---|---|
| 3-3-①<br>スポーツイベント振興<br><br>担当課　生涯学習課 | 【令和7年度の取組内容】<br>　宝浪漫マラソンは、能登半島地震からの復旧・復興対応に加え、スタッフの高齢化に伴うボランティア確保の困難を理由として、実行委員会において事業中止を決定した。<br><br>【今後の展開】<br>　今後、新たなスポーツイベントを継続的に実施していくため、関係団体等との合意形成を図りつつ、効果的・効率的な運営を可能とする組織体制のあり方について検討する必要がある。 | 1,000 | × |

| 施策 | 3-4　ふるさと観光の振興<br>豊かな自然環境や食文化、産業などの地域の魅力を広く発信し、交流人口の増加を目指します。また、ふるさと会との連携を強化し、地域経済の活性化と持続可能な観光振興への取り組みを推進します。 |
|---|---|

| 重要業績評価指標（KPI） | | 基準値 | 参考値 | 計画期間 | | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | |
| 観光客入込数 | 目標値 | 672,627人 | → | → | → | → | → | 800,000人 | |
| | 実績値 | 672,627人 | 549,721人 | 561,889人 | | | | | |
| 支援イベント参加者数 | 目標値 | 25,603人 | → | → | → | → | → | 30,000人 | |
| | 実績値 | 25,603人 | 26,720人 | 26,346人 | | | | | |
| ふるさと会の会員数（うち関東） | 目標値 | 342人 | → | → | → | → | → | 400人 | |
| | 実績値 | 342人 | 340人 | 331人 | | | | | |
| ふるさと会の会員数（うち関西） | 目標値 | 103人 | → | → | → | → | → | 150人 | |
| | 実績値 | 103人 | 87人 | 84人 | | | | | |

| 具体的な取組 | 取組内容および今後の展開 | 決算額（千円） | 内部評価 |
|---|---|---|---|
| 3-4-①<br>官民共創まちづくり戦略の推進<br>担当課　商工観光課 | 【令和7年度の取組内容】<br>「宝達志水町官民共創まちづくり戦略」の構築に向けて、関係者との連携を模索している。<br>令和７年度は商工会や観光協会を通じて、町内事業者の観光イベントや県内外の物産展への出展を支援した。<br>関東・関西の両ふるさと会との交流を通じて、関係人口の拡大を図った。<br><br>【今後の展開】<br>「官民共創まちづくり戦略」は、「ふるさと観光の振興」の実現のために有効な手段であるが、関係者が少ない当町においては、小さな取り組みから始める必要がある。<br>とりわけ、観光振興の主役となる観光事業者の創出が必須であることから、創業支援をはじめ、観光イベントの支援、ふるさと会との連携、観光スポットの整備といった取り組みを堅実に実施することで、新規の観光事業者が創業しやすい環境づくりを図っていく。 | ― | △ |
| 3-4-②<br>観光イベントの支援<br>担当課　商工観光課 | 【令和7年度の取組内容】<br>千里浜なぎさドライブウェイの入口である今浜海岸で開催された日本最大級のバイクツーリングイベント「SSTR」では、おもてなしブースを設置し、町特産品のPRや観光情報の発信を実施した。<br>水上バイクの全国大会「ALL JAPAN JET SPORTS SERIES」では、町内高校生と町内菓子店が連携したコラボスイーツの販売をはじめ、町内飲食店等のPRを行い、地域の魅力発信と消費喚起につなげた。<br>このほか、「YOSAKOIソーラン日本海本祭」「宝達志水大花火」「ティラノサウルスレース」など、町内で開催された各種観光イベントにおいても、実行委員会等と連携しながら開催支援を行い、地域の賑わい創出と交流人口の拡大を図った。<br><br>【今後の展開】<br>各種観光イベントにおいては、年々来場者数が増加し、町内に賑わいが創出されていることから、今後も継続してイベント開催への支援を行い、更なる交流人口の拡大を図る。<br>一方で、イベント参加者が町内宿泊施設や飲食施設を利用せず、消費が町外へ流出している現状があることから、イベントと町内事業者との連携強化を図り、地域内消費の促進につなげていく。<br>あわせて、本町の課題である宿泊施設不足の解消に向け、国・県の補助制度等の動向も注視しながら、宿泊環境の整備について検討を進めていく。 | 72,249 | ○ |
| 3-4-③<br>ふるさと会との連携<br>担当課　商工観光課 | 【令和7年度の取組内容】<br>SSTR2025が5月に開催され、実行委員会として、関西ふるさと会と連携し、本町独自の歓迎イベントを実施した。<br>７月に関東ふるさと会の第８回定期総会を神田明神の明神会館で、関西ふるさと会の第２回定期総会を新大阪ワシントンプラザホテルで開催し、会員と町との信頼関係の構築に努めた。<br>二十歳の誓いの資料に会員募集の案内を同封し、加入の呼びかけを行った。<br><br>【今後の展開】<br>引き続き、両ふるさと会との関係構築を図るとともに、新規加入の呼びかけを実施し、関係人口の拡大に努める。 | 72,249 | ○ |

| 具体的な取組 | | 取組内容および今後の展開 | 決算額（千円） | 内部評価 |
|---|---|---|---|---|
| 3-4-④<br>観光スポットの整備 | | 【令和7年度の取組内容】<br>能登半島国定公園内の除草作業を実施したほか、観光施設トイレや山の龍宮城の清掃等を行い、快適な観光環境の維持と町のイメージアップに努めた。また、落雷により故障した宝達山頂公園トイレの給水ポンプ及びろ過ポンプについて迅速に修繕を行い、観光施設の適切な維持管理を行った。<br>志雄パーキングに設置されている転落防止柵について、老朽化に伴う腐食が確認されたことから取替工事を実施し、利用者の安全確保に努めた。<br>宝達山頂の展望サインを更新し、登山者や観光客の満足度向上に寄与した。<br><br>【今後の展開】<br>今浜口モニュメント周辺の駐車場整備を進め、千里浜なぎさドライブウェイにおける受入環境の向上と観光振興を図る。<br>宝達山頂公園において、要望の多い遊具を設置するほか、山の龍宮城へオリジナルカプセルトイや眺望写真パネルを設置し、登山者や観光客が楽しめる仕掛けづくりを進める。<br>今浜海岸及び山の龍宮城に人数カウント機能付きカメラを設置し、観光入込客数を正確かつ効率的に把握することで、今後の観光施策の検討及び効果検証に活用していく。 | 26,939 | ◯ |
| 担当課 | 商工観光課 | | | |

## 基本目標４

# ひとが集う、安心して暮らすことができる
# 魅力的な地域をつくる

＜施策＞

4-1　災害に強いまちづくり

4-2　地域コミュニティの充実

4-3　高齢者が安心して暮らせる環境の整備

4-4　健康づくりの推進

4-5　循環型まちづくりの推進

| 施策 | 4-1　災害に強いまちづくり<br>災害の発生に備え、防災・減災対策を推進し、地域防災力や消防力の強化を図るとともに、公共施設や道路の整備を進めることで、安心・安全に暮らせるまちづくりを目指します。また、令和６年能登半島地震からの復旧・復興に向けて、町全体で取り組みます。 |
|---|---|

| 重要業績評価指標（KPI） | | 基準値 | 参考値 | 計画期間 | | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | |
| 指定緊急避難場所数 | 目標値 | 34箇所 | → | → | → | → | → | 40箇所 | |
| | 実績値 | 34箇所 | 35箇所 | 35箇所 | | | | | |
| 「防災・防犯情報」登録件数（LINE） | 目標値 | 1,361人 | → | → | → | → | → | 3,500人 | |
| | 実績値 | 1,361人 | 2,051人 | 2,629人 | | | | | |

| 具体的な取組 | 取組内容および今後の展開 | 決算額（千円） | 内部評価 |
|---|---|---|---|
| 4-1-①<br>避難所等機能の強化<br>担当課　環境安全課 | 【令和7年度の取組内容】<br>想定避難者数に応じた、非常食・水・携帯トイレ等消耗品の購入。また、避難所生活必要となる資機材の購入を行った。<br><br>【今後の展開】<br>石川県から、地震被害想定が公表されたことを受け、町の想定避難者数の見直しを行った。それに伴い、非常食・水・各種消耗品の備蓄保管数が変更となり、今後５カ年で必要数をそろえる。 | 10,054 | ○ |
| 4-1-②<br>消防施設の整備<br>担当課　環境安全課 | 【令和7年度の取組内容】<br>耐震性貯水槽の設置及び老朽化した防火水槽の改修や更新を実施し、安定した消防水利の確保に努める。<br><br>【今後の展開】<br>消防水利の充足状況を継続的に把握し、不足地域への防火水槽の計画的な整備を推進する。<br>また、既存防火水槽の老朽化対策や維持管理体制の強化を図り、消防水利の機能維持に努める。<br>さらに、地域の人口動態や土地利用の変化を踏まえた消防水利配置の見直しを行い、効率的かつ効果的な消防水利の確保を進めることで、消防水利充足率のさらなる向上を目指す。 | 2,217 | ◎ |
| 4-1-③<br>防災情報等収集・発信力の強化<br>担当課　環境安全課 | 【令和7年度の取組内容】<br>一斉情報配信システム及び総合防災システムの維持管理を行い、住民に対し、災害情報や防災・防犯等に対する注意喚起を行った。<br><br>【今後の展開】<br>一斉情報配信システム及び総合防災システムの利用者を増やし、災害時や緊急時における町民への情報伝達を迅速かつ適正に行う事に努める。 | 3,346 | ○ |
| 4-1-④<br>公共施設や道路等の管理・整備<br>担当課　地域整備課 | 【令和7年度の取組内容】<br>道路改良及び歩道整備などを実施している。また、道路パトロールにより側溝の清掃・補修を行い、日常生活の利便性と安全性の向上に努めている。<br>橋梁については定期的な点検を実施し、長寿命化修繕計画に基づいた橋梁の維持管理を計画的に進めている。<br><br>【今後の展開】<br>令和6年能登半島地震の教訓を踏まえ、災害発生時の避難路として機能する路線の整備を進める。<br>日常的な道路パトロールや適切な維持管理を徹底し、路面の損傷など軽微な異常の早期発見・早期対応に努める。 | 172,510 | ○ |

| 施策 | 4-2　地域コミュニティの充実<br>地域住民のつながりを強化し、地域と行政が協働することによって、地域コミュニティの充実を図ります。 |
|---|---|

| 重要業績評価指標（KPI） | | 基準値 | 参考値 | 計画期間 | | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | |
| 防災士数 | 目標値 | 168人 | → | → | → | → | → | 220人 | |
| | 実績値 | 168人 | 189人 | 221人 | | | | | |
| デマンドタクシーの登録者数 | 目標値 | 359人 | → | → | → | → | → | 500人 | |
| | 実績値 | 359人 | 346人 | 348人 | | | | | |

| 具体的な取組 | 取組内容および今後の展開 | 決算額（千円） | 内部評価 |
|---|---|---|---|
| 4-2-①<br>自主防災組織の活動支援<br>担当課　環境安全課 | 【令和7年度の取組内容】<br>自主防災組織に対し、自地域での防災訓練にかかる費用または、災害対策用の資機材、備蓄品購入費用に対し補助を行ったほか、新たに防災士の資格取得に対する費用負担を行った。<br>・令和７年度防災士試験合格者２９名<br>・宝達志水町の防災士数２２２名（個人登録１名含む）<br><br>【今後の展開】<br>自主防災組織助成金事業の使用組織を多くし、地域の防災力向上を目指す。<br>地域の防災力向上を目的とし、防災士の増員を行っていく。 | 818 | ◯ |
| 4-2-②<br>地区防災マップの作成<br>担当課　地域整備課 | 【令和7年度の取組内容】<br>石川県土砂災害対策アクションプログラムに基づき、土砂災害警戒区域のある地区（町内31地区）を対象に、勉強会、地区防災マップ作成、避難訓練実施を一環して行うことで、住民の防災意識の向上と、地区が継続的に防災訓練を行う仕組み作りの支援を目的とする。<br>平成29年度から地区の防災意識向上プログラムを実施し、令和6年度までに10地区で実施している。<br>令和7年度は石坂区で実施。<br><br>【今後の展開】<br>未実施の地区において、作成を進めていく。（毎年1地区を想定） | 1,034 | ◯ |
| 4-2-③<br>地域交通の推進<br>担当課　企画情報課 | 【令和7年度の取組内容】<br>宝達志水町地域公共交通協議会等の承認を経て、令和4年10月に地域公共交通の再編を実施し、①宝寿荘に特化したコミュニティバスの運行、②デマンドタクシーの運賃改定、③南北シャトル便の新設を行い、町民の利便性の向上に努めている。<br>その結果、デマンドタクシーの利用は徐々に増加している一方で、コミュニティバスの利用は減少傾向にある。また、南北シャトル便については、利用者数が低迷している状況である。<br><br>【今後の展開】<br>コミュニティバスについては、買い物利用もできるよう利便性向上を求める利用者からの要望があるが、スクールバスの空き時間を活用している現行の運行体制では困難な状況である。南北シャトル便については、利用者が顕著に減少しているため、運行継続の要否を検討する必要がある。<br>令和９年度からの地域公共交通計画策定に向けた具体的施策の検討を行い、利用者ニーズを踏まえつつ持続可能な地域公共交通サービスの導入も視野に、町民の「生活の足」の確保に努めたい。 | 57,863 | ◯ |
| 4-2-④<br>電子回覧板の推進<br>担当課　総務課 | 【令和7年度の取組内容】<br>各集落において利用可能な電子回覧板「自治会サポ！」を導入し、令和7年10月から利用を開始した。<br>令和7年度末時点で、利用集落は31集落、利用者数（自治会サポ！登録者数）は785人となっている。<br>また、区長（グループリーダー）から区民等宛てに情報配信する「お知らせ配信機能」と、区民等同士でやり取りや情報共有ができる「掲示板機能」という、大きく２つの機能が実装されているが、「お知らせ配信機能」については毎月5回程度利用している集落もあれば、0回の集落もある状況である。<br>なお、「自治会サポ！」利用に際しては、町公式LINEアカウントの登録が必要であり、令和7年9月末（自治会サポ！導入直前）と令和8年3月を比較すると、約350人の町公式LINEアカウントの登録者数増加に寄与した。<br><br>【今後の展開】<br>町広報誌やホームページ、公式SNS等で継続的に周知を行い、利用集落数や利用者数（登録者数）増加を図る。<br>また、よく利用している集落の利用方法等を他集落とも情報共有することで、利用頻度の増加を図る。<br>その他、利用者にアンケート調査を行い、より利便性が良くなるよう利用方法や機能等の改善を図る。 | 10,053 | △ |

| 施策 | 4-3　高齢者が安心して暮らせる環境の整備<br>地域全体で高齢者を支え合う仕組みを構築し、高齢者が自立し、生き生きとした生活を送れるまちづくりを目指します。 |
|---|---|

| 重要業績評価指標（KPI） | | 基準値 | 参考値 | 計画期間 | | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | |
| 要介護認定率の減少 | 目標値 | 18.0% | → | → | → | → | → | 17.5% | |
| | 実績値 | 18.0% | 18.0% | 17.9% | | | | | |
| 介護予防教室参加者のチェックリスト改善率 | 目標値 | 34.0% | → | → | → | → | → | 50.0% | |
| | 実績値 | 34.0% | 33.3% | 44.4% | | | | | |

| 具体的な取組 | 取組内容および今後の展開 | 決算額（千円） | 内部評価 |
|---|---|---|---|
| 4-3-①<br>介護予防の充実<br>担当課　健康福祉課 | 【令和7年度の取組内容】<br>(1) 送迎付き介護予防教室：96回実施・参加者15名・延べ415名参加<br>(2) 介護予防サポーターフォローアップ研修：1回開催・受講者数10名<br>(3) 地域サロンへの活動支援：6か所（体力測定・健康教育実施）延べ12回実施・延べ195名参加<br>(4) 地域通いの場づくり初期活動事業補助金の交付：地域サロン3か所<br>(5) お達者ですか訪問：健康状態が不明（医療機関未受診、介護保険サービス未利用、かつ健診未受診）である後期高齢者25名を個別訪問。<br>(6) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の実施：65歳以上住民800名に実施、有効回答数550件<br><br>【今後の展開】<br>高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を継続できるよう、地域サロンや介護予防教室などの通いの場の充実と拡充を図り、介護予防を推進する。<br>介護予防サポーターの高齢化や活動人数の減少が課題となっている。今後は新たな介護予防サポーターの養成に取り組むとともに、既存サポーターへの継続的な支援や活動機会の充実を図り、地域における介護予防活動の担い手の確保・育成に努める。<br>県理学療法士会との連携を継続し、専門職(理学療法士、保健師等）による地域サロンへの支援や介護予防事業の充実を図ることで、地域における介護予防活動の活性化を推進する。<br>健康状態不明者の中には、身体機能の低下や社会的孤立、治療の自己中断など複合的な課題を抱える高齢者が含まれている。今後も個別訪問を継続し、健康状態の把握と必要な医療・介護サービスへの早期接続に努める。 | 5,696 | ○ |
| 4-3-②<br>認知症支援の充実<br>担当課　健康福祉課 | 【令和7年度の取組内容】<br>(1) 認知症サポーター養成講座：計6回開催、117名養成<br>(2) 認知症カフェ：2か所延べ62回開催、793名参加<br>(3) 認知症フォーラム：109名参加<br>(4) 認知症地域支援推進員の配置：11名配置<br>(5) どこシル伝言板登録者及びSOSネットワーク登録者：9名（新規登録1名）<br>(6) 認知症初期集中支援チームによる相談支援：チーム員会議1回開催<br><br>【今後の展開】<br>高齢化率は40.7％（令和8年3月末）まで上昇している。令和7年度要介護認定者653人のうち、認知症状のある人は443人（認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上）であり、全体の約68.0％を占めている（令和8年3月時点）。<br>認知症の人と家族を地域で支える相談体制の充実や、それを支援する社会資源や地域の見守り体制整備が必要。<br>相談窓口の周知、認知症カフェ等の居場所づくりを進める。<br>地域の見守り体制強化のために、認知症フォーラムの継続開催や、SOSネットワーク事業を普及させる。<br>認知症サポーター養成講座やステップアップ講座を開催し、認知症の人やその家族を支える支援体制（チームオレンジ）の構築と活用を発展させる。 | 2,507 | ○ |
| 4-3-③<br>在宅高齢者のフレイル等予防事業<br>担当課　健康福祉課 | 【令和7年度の取組内容】<br>(1) フレイル予防教室、健康アプリ説明会<br>ア　対象者：フレイルハイリスク高齢者　4回実施・延べ62名参加<br>イ　対象者：民生児童委員　1回実施・55名参加<br>(2) 健康管理アプリの利用者数：35名<br><br>【今後の展開】<br>フレイル予防教室を継続的に実施し、高齢者の健康づくりや介護予防を推進する。<br>ハイリスク高齢者に対するフレイル予防及び重症化予防の支援を継続し、健康状態の維持・改善につなげる。<br>健康管理アプリの利用者拡大を図るとともに、継続利用を支援し、健康意識の向上及び健康管理の習慣化につなげる。 | 1,760 | ○ |

| 具体的な取組 | 取組内容および今後の展開 | 決算額（千円） | 内部評価 |
|---|---|---|---|
| 4-3-④<br>地域包括支援体制の整備 | 【令和7年度の取組内容】<br>(1) 総合相談支援：287件　(2) 地域ケア会議：44件<br>(3) 介護予防ケアマネジメント(ケアマネ相談支援）：18件<br>(4) 終末期ケアフォーラム：40名参加　(5) 認知症カフェ：延べ793名参加<br>(6) 認知症フォーラム：109名参加　(7) 食の自立支援事業：7名、延べ1,475食<br>(8) 外出支援サービス事業：延べ153人、1553回　(9)緊急通報装置設置：2名<br>(10) 見守りネットワーク：避難行動要支援者名簿作成、個別避難計画策定<br>(11) 福祉座談会：5回（区長・民生児童委員との要支援高齢者への支援に関する情報交換を実施）<br><br>上記の各種事業、会議、情報交換会から高齢者の地域課題を把握し必要な取組につなげた。また、総合相談や地域ケア会議を通じて高齢者の個別課題を把握し、地域の見守りネットワーク体制の整備を推進した。<br><br>【今後の展開】<br>独居や高齢夫婦のみ世帯、認知症高齢者の増加から複合的な課題を抱え、介護・福祉サービスだけでは対応が難しいケースが増えていることから、総合相談等の支援を充実し、フォーマル・インフォーマルサービスを含めた地域ぐるみの支援策や見守りネットワークの構築・強化を図る。<br>医療機関・介護サービス事業者等との連携体制を一層強化し、医療・介護・福祉が一体となった切れ目のない支援を推進することで、住民が住み慣れた地域で安心して生活を継続できる体制の構築を図る。 | 14,318 | ◯ |
| 担当課　健康福祉課 | | | |

| 施策 | 4-4　健康づくりの推進<br>地域全体の健康意識を高め、良好な生活習慣の定着を目指した健康づくりを推進します。特定健康診断や各種がん検診の受診促進を図るとともに、適切な保健指導を実施します。 |
|---|---|

| 重要業績評価指標（KPI） | | 基準値 | 参考値 | 計画期間 | | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | |
| 健診受診率 | 目標値 | 54.2% | → | → | → | → | → | 60.0% | R7実績値は暫定値 |
| | 実績値 | 54.2% | 50.9% | 52.9% | | | | | |
| 特定保健指導率 | 目標値 | 66.7% | → | → | → | → | → | 80.0% | R7実績値は暫定値 |
| | 実績値 | 66.7% | 79.7% | 70.0% | | | | | |

| 具体的な取組 | 取組内容および今後の展開 | 決算額（千円） | 内部評価 |
|---|---|---|---|
| 4-4-①<br>特定健診・保健指導の実施<br>担当課　健康づくり推進室 | 【令和7年度の取組内容】<br>(1) 特定健康診査<br>集団健診：R7:517人　個別健診：R7:206人　人間ドック：R7:28人<br>(2) 特定健診未受診者対策<br>受領調査：R7:115件　事業主健診：R7:該当者なし　持参、訪問：R7:33件<br>(3) 特定保健指導　地区担当制にて保健指導を実施<br>特定保健指導終了人数：R7:見込み71人　重症化予防保健指導者数：R7:126人<br>健診結果説明会参加率：R7:32.3%<br><br>【今後の展開】<br>集団健診・個別健診のみでは受診率の向上は難しいため、特定健診未受診者対策を引き続き実施していく。特に40代、50代の受診率が低いため、対象者台帳や重症化予防対象者の台帳を活用し受診勧奨を強化する必要がある。<br>特定保健指導率を上げるため、計画的に保健指導を実施する必要がある。対象者名簿を作成し、対象者の管理を行う。保健指導を通して対象者のデータ改善に繋がるよう支援を行っていく。 | 13,184 | ○ |
| 4-4-②<br>がん検診の実施<br>担当課　健康づくり推進室 | 【令和7年度の取組内容】<br>(1) ・集団検診　計15日間（6月、7月、8月、10月）／アステラス、役場の2会場で実施<br>＜R7受診者数＞胃がん：570人　肺がん：888人　大腸がん：926人<br>子宮頸がん：250人　乳がん：307人<br>(2) 個別検診　7月～11月／県内の指定医療機関で実施<br>＜R7受診者数＞子宮頸がん：46人　乳がん：43人<br>(3) 受診勧奨<br>検診案内はがきの送付や広報紙への掲載、検診の予約状況に応じてLINE等を活用して受診を促した。<br>(4)検診未受診者への再勧奨<br>大腸がん検診はR3年度から、胃がん検診はR6年度から実施している。<br>(5) 要精密検査者<br>結果通知へのパンフレット同封や電話等による受診確認・勧奨を行っている。<br>未受診者には郵送による再勧奨を実施している。<br>(6) がんアピアランスケア事業<br>がん治療に伴う外見変化への支援として、補正用具購入費の助成を実施。<br><br>【今後の展開】<br>がん検診の受診率が減少傾向にあるため、早期発見・早期治療の重要性について改めて普及啓発を図る必要がある。今後は、検診や精密検査の未受診者への再勧奨を継続し、受診率の向上に努める。<br>広報紙やホームページ等による検診の普及啓発の強化や、女性がん検診（個別検診）の受診票の申込みにおける電子申請の活用により、幅広い世代の受診につなげる。<br>がんアピアランスケア事業の普及啓発に努め、がん患者への支援の充実を図る。 | 10,114 | ○ |
| 4-4-③<br>地域組織の育成の推進<br>担当課　健康づくり推進室 | 【令和7年度の取組内容】<br>(1) 健康づくり推進員<br>健康づくりの推進員の改選により、新規会員（任期が2年）が全体の 4 割を占めたため、推進員の役割や町の健康課題などを学ぶ研修会等を行い、ブロック活動が円滑に実践できるよう、推進員の育成・支援に努めている。<br>その結果、町内を13ブロックに分けて行っているブロック活動が活発化してきている。<br>(2) 食生活改善推進協議会<br>食生活改善推進協議会の活動では、調理実習を取り入れながら、子どもから高齢者まで各世代に応じた食育活動を行っている。<br>地区活動においては地域を7ブロックに分け、各ブロックで減塩普及や野菜摂取の推進など、地域に応じた活動を展開している。<br><br>【今後の展開】<br>(1) 健康づくり推進員<br>高齢化対策としての介護予防、一人暮らし高齢者等への閉じこもり予防、地域のニーズや健康課題に沿った健康づくりを進め、推進員がより自主的・意欲的に取り組むことで、ブロック活動や参加者数を増やしていけるよう、今後も支援していく。<br>(2) 食生活改善推進協議会<br>会員数の減少と高齢化が課題となっているが、協議会の状況に応じて活動内容や方法を検討していく。また新規会員の増加に向けて、養成講座を随時開催する。 | 864 | ○ |

| 施策 | 4-5　循環型まちづくりの推進<br>豊かな自然環境やその恵みを享受した豊かな暮らしを未来に受け継ぐために必要な取り組みを推進します。 |
|---|---|

| 重要業績評価指標（KPI） | | 基準値 | 参考値 | 計画期間 | | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | |
| 住宅用太陽光発電システム等補助金 | 目標値 | 37件 | → | → | → | → | → | 60件 | ・基準値はR3→R5の累計件数<br>・目標値はR7→R11の累計件数<br>・各年度の実績値は直近5か年の累計件数 |
| | 実績値 | 37件 | 38件 | 46件 | | | | | |
| 温室効果ガス削減率（うち①町施設） | 目標値 | △24.2% | → | → | → | → | → | △50.0% | R7実績値は9月頃に確定 |
| | 実績値 | △24.2% | △38.6% | 調査中 | | | | | |
| 温室効果ガス削減率（うち②町全域） | 目標値 | 未策定 | → | → | → | → | → | △46.0% | 地球温暖化対策実行計画の策定後に実績値の調査開始予定 |
| | 実績値 | 未策定 | 未策定 | 未策定 | | | | | |

| 具体的な取組 | 取組内容および今後の展開 | 決算額（千円） | 内部評価 |
|---|---|---|---|
| 4-5-①<br>住宅用太陽光発電システム等の補助<br><br>担当課　環境安全課 | 【令和7年度の取組内容】<br>地球温暖化防止対策及び災害発生時の非常用電源の確保等を目的として、下記のシステムを設置する者に対し、補助金を交付。<br>(1) 補助対象システム<br>ア　住宅用太陽光発電システム（太陽電池の出力が10キロワット未満の発電設備で、未使用のもの）<br>イ　住宅用定置型リチウムイオン蓄電池システム（電力を充放電できるものであり、インバータ等の電力変換装置を備えたシステムで、未使用のもの）<br>(2) 補助金額　一律50,000円（併用可）<br>(3) 交付実績　R3：6件、R4：8件、R5：15件、R6：7件、R7：10件<br><br>【今後の展開】<br>脱炭素社会の実現に向け、本補助制度を継続する。広報紙やホームページ等を通じた周知徹底を図り、町民の環境意識の向上と、クリーンエネルギーのさらなる普及促進に努める。 | 850 | ◯ |
| 4-5-②<br>カーボンニュートラルの推進<br><br>担当課　環境安全課 | 【令和7年度の取組内容】<br>地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の見直し及び地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定に向け、公共施設における電気・燃料等のエネルギー使用状況の調査、温室効果ガス排出量の推計・分析を実施した。<br>また、全体の排出状況や地域特性、再生可能エネルギー導入の可能性、国・県の施策動向等を踏まえ、現状と課題を整理し、計画素案を作成した。<br><br>【今後の展開】<br>地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定し、本格的な実行管理へ移行する。<br>地球温暖化対策実行計画（区域施策編）・（事務事業編）で、行政だけでなく、事業者・住民も含めた町全体で脱炭素に取り組む。<br>PDCAサイクルの確立： 毎年度、町全体の温室効果ガス排出量や、公共施設での削減実績を数値化し、公表する。計画が順調に進んでいるかチェックし、必要に応じて施策を見直す。 | ― | △ |

基本目標５

# デジタルの力で誰もが便利で
# 快適に暮らせるまちをつくる

＜施策＞

5-1　情報発信力の強化

5-2　地域社会のデジタル化の推進

| 施策 | 5-1　情報発信力の強化<br>時代の変化を踏まえ、様々なツールを活用して町民が必要とする情報を的確に発信することに努めます。また、まちの魅力を広く伝えることで、知名度の向上を図ります。 |
|---|---|

| 重要業績評価指標（KPI） | | 基準値 | 参考値 | 計画期間 | | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | |
| 宝達志水町公式ホームページへのアクセス件数 | 目標値 | 445,643件 | → | → | → | → | → | 600,000件 | |
| | 実績値 | 445,643件 | 376,142件 | 377,257件 | | | | | |
| 町情報ツールの登録者数 | 目標値 | 3,571件 | → | → | → | → | → | 6,000件 | |
| | 実績値 | 3,571件 | 3,750件 | 4,630件 | | | | | |

| 具体的な取組 | 取組内容および今後の展開 | 決算額（千円） | 内部評価 |
|---|---|---|---|
| 5-1-①<br>ホームページやSNSを活用した情報発信の強化<br>担当課　企画情報課 | 【令和7年度の取組内容】<br>広報「宝達志水」の発信をはじめとして、ホームページやFacebookなどのSNSによる情報発信を頻繁にすることで、本町の町政執行上必要な事項を町民向けに発信。町公式Facebookを通じて、開催されたイベントから桜の開花状況までさまざまな情報を発信できた。<br><br>【今後の展開】<br>町の公式FacebookやLINEなどを通じて、即時に情報発信するとともに、効果的な情報発信を重ね、テレビや新聞などのメディアに情報を積極的に提供し、町の知名度を上げていきたい。 | 31,731 | ○ |
| 5-1-②<br>情報提供システムの整備<br>担当課　企画情報課 | 【令和7年度の取組内容】<br>ホームページの充実を目指し、コンテンツの更新頻度を向上させるとともに、ユーザビリティの改善に努めたほか、SNSでの情報発信についても、より的確に情報を伝えられるよう、時代の変化に応じた情報提供を行い、利用者が求める情報に迅速にアクセスできる環境を整えることで、利便性を高めた。<br><br>【今後の展開】<br>利用者がスムーズに情報へアクセスできるよう「スマホ対応」と「目的別メニューの配置」で使いやすさを向上させるとともに、庁内の更新ルールを明確化することで、常に新しく質の高い情報を展開していく。 | 31,731 | ○ |

| 施策 | 5-2　地域社会のデジタル化の推進<br>誰もが簡単・便利に利用できる「スマートタウン」を実現するために、行政におけるDXを推進します。デジタル化の進展においては、誰一人取り残されることのない社会を目指し、デジタルデバイドの解消に向けた取組を強化します。 |
|---|---|

| 重要業績評価指標（KPI） | | 基準値 | 参考値 | 計画期間 | | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | |
| コンビニ交付発行件数 | 目標値 | 2,682件 | → | → | → | → | → | 4,600件 | |
| | 実績値 | 2,682件 | 2,809件 | 3,011件 | | | | | |
| 住民サービス向上DX対応業務数 | 目標値 | 4件 | → | → | → | → | → | 15件 | |
| | 実績値 | 4件 | 9件 | 11件 | | | | | |

| 具体的な取組 | 取組内容および今後の展開 | 決算額（千円） | 内部評価 |
|---|---|---|---|
| 5-2-①<br>マイナンバーカードの活用<br>担当課　税務住民課 | 【令和7年度の取組内容】<br>令和5年4月からマイナンバーカードによる各種証明書のコンビニ交付について、窓口で取得するよりも100円安くし、利便性向上に努めているほか、マイナンバーカードの取得・更新時に、チラシを配布し、周知に努めている。<br><br>【今後の展開】<br>コンビニ交付の発行部数は少しづつ伸びており、証明書の総発行件数に対する利用率も約40%まで増加した。窓口に来庁される方の中には、暗証番号を忘れた場合や端末操作に不慣れな方などがいるため、マイナンバーカードの交付時や来庁時に丁寧に、またわかりやすく周知していく必要がある。 | 4,375 | ○ |
| 5-1-②<br>業務DX化の推進<br>担当課　企画情報課 | 【令和7年度の取組内容】<br>「電子申請（LoGoフォーム）」や「税のQRコード納付」「キャッシュレス対応」で利便性に向上したほか、「AIドリル」や「在宅高齢者のフレイル予防」、「統合型GIS」等により庁内業務を高度化し、住民負担の軽減と質の高い行政サービスを実現している。<br>＜DX対応業務数＞ 11システム<br><br>【今後の展開】<br>令和8年度は「議会タブレット」と「会議録システム」を導入し、議会のペーパーレス化と運営の効率化を図るほか、「電子入札システム」により、事業者の負担軽減と透明性を確保する。令和9年度は「財務会計システム」を改修し、QRコード納付等による利便性の向上を目指す。<br>今後は、窓口での記入の手間を省く「書かない窓口」の導入も検討するなど、誰もが利用しやすい行財サービスの提供を目指す。 | 291,652 | ○ |

参考資料１

# 数値目標・KPI進捗状況一覧

# 数値目標 進捗状況一覧

| 基本目標1 | 結婚・出産・子育ての希望をかなえる |
|---|---|
| 基本的な方向性 | 本町の少子化克服には、「宝達志水町で子育てをしたい」と思う若い世代を増やすことが重要です。そのためには、安心して子どもを産み育てることができるよう、切れ目ない子育てサポートや経済的支援を充実させるとともに、次世代を担う子どもたちが健やかに育ち、学ぶことができる環境づくりに取り組みます。 |

| 数値目標 | | 基準値 | 参考値 | 計画期間 | | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | |
| 年間出生数 | 目標値 | 38人 | → | → | → | → | → | 43人 | |
| | 実績値 | 38人 | 43人 | 28人 | | | | | |
| 子育てしやすいと感じている世帯の割合 | 目標値 | 43.3% | → | → | → | → | → | 53.0% | 調査未実施により未把握 |
| | 実績値 | 43.3% | — | — | | | | | |

| 基本目標2 | 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする |
|---|---|
| 基本的な方向性 | 本町の人口維持や増加に向けて重要なのは、町内に就労の機会を創出することです。若者にとって魅力的なまちを目指す上でも、「仕事」の確保は欠かせません。町として、地域の資源や人材を活かした活動を支援し、さらなる発展を促進していくとともに、企業誘致についても引き続き推進します。 |

| 数値目標 | | 基準値 | 参考値 | 計画期間 | | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | |
| 新規創業者数 | 目標値 | 11件 | → | → | → | → | → | 18件 | ・基準値はR2→R5の累計件数<br>・目標値はR7→R11の累計件数<br>・各年度の実績値は直近5か年の累計件数 |
| | 実績値 | 11件 | 21件 | 20件 | | | | | |

| 基本目標3 | 本町とのつながりを築き、新しいひとの流れをつくる |
|---|---|
| 基本的な方向性 | 本町の魅力を積極的に発信し、経済的支援策を充実させるとともに、居住環境の整備に取り組むことで、本町への移住・定住を促進していきます。また、町の豊かな自然環境を活用した観光イベントやスポーツイベントを通じて交流人口の拡大を図ります。さらに、今後は地域住民と学生との交流による町の魅力向上と新たな賑わいの創出を目指し、学生の滞在型まちづくり活動の実現を推進します。 |

| 数値目標 | | 基準値 | 参考値 | 計画期間 | | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | |
| 社会増減数 | 目標値 | △ 43人 | → | → | → | → | → | △ 20人 | |
| | 実績値 | △ 43人 | △ 4人 | △ 107人 | | | | | |

| 基本目標4 | ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる |
|---|---|
| 基本的な方向性 | 住み慣れた地域で、誰もが自分らしく生き生きと生活できるよう、健康づくりの推進と地域コミュニティの強化に努め、生涯活躍できるまちづくりを目指します。また、安心して暮らせる環境を整えるために、公共施設や道路など各種インフラの安全性を確保し、防災力の強化や令和６年能登半島地震からの復興に向けて町全体で取り組みます。 |

| 数値目標 | | | 基準値 | 計画期間 | | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | |
| 住みよさ率 | 目標値 | | 35% | → | → | → | → | 50% | 調査未実施により未把握 |
| | 実績値 | | 35% | − | | | | | |
| 防災体制への不満度 | 目標値 | | 7% | → | → | → | → | 5%以下 | 調査未実施により未把握 |
| | 実績値 | | 7% | − | | | | | |

| 基本目標5 | デジタルの力で誰もが便利で快適に暮らせるまちをつくる |
|---|---|
| 基本的な方向性 | デジタル技術の活用により、行政サービスの利便性を向上させ、誰もが簡単・便利に利用できる「スマートタウン」を目指します。また、事務作業の自動化・効率化を進めることで、人でなければできない業務の質を向上させます。さらに、各目標におけるＤＸを活用した取組により、誰もが便利で質の高いサービスを享受できる環境を整備し、豊かな町民生活の実現を推進します。 |

| 数値目標 | | 基準値 | 参考値 | 計画期間 | | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | |
| 住民サービス向上DX対応業務数 | 目標値 | 4件 | → | → | → | → | → | 15件 | |
| | 実績値 | 4件 | 9件 | 11件 | | | | | |

# ＫＰＩ（重要業績評価指標）進捗状況一覧

| 施策 | 重要業績評価指標（KPI） | | 基準値 | 参考値 | 計画期間 | | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | |
| 1-1 切れ目のない子育てサポート | 宝っ子すくすくアプリ登録件数 | 目標値 | 181件 | → | → | → | → | → | 330件 | |
| | | 実績値 | 181件 | 226件 | 235件 | | | | | |
| | 産後うつ病傾向の人の割合 | 目標値 | 5.6% | → | → | → | → | → | 5.0%以下 | |
| | | 実績値 | 5.6% | 4.5% | 10.3% | | | | | |
| | 保育所利用保護者の満足度 | 目標値 | 97.0% | → | → | → | → | → | 98.0% | |
| | | 実績値 | 97.0% | 94.7% | 94.3% | | | | | |
| 1-2 ライフステージに応じた経済支援 | 年間出生数 | 目標値 | 38人 | → | → | → | → | → | 43人 | |
| | | 実績値 | 38人 | 43人 | 28人 | | | | | |
| | 子育てしやすいと感じている世帯の割合 | 目標値 | 43.3% | → | → | → | → | → | 53.0% | 調査未実施により未把握 |
| | | 実績値 | 43.3% | — | — | | | | | |
| 1-3 主体的に学ぶ教育の推進 | 中学生の英検3級以上の取得率 | 目標値 | 20.0% | → | → | → | → | → | 70.0% | |
| | | 実績値 | 20.0% | 19.0% | 27.4% | | | | | |
| | 自分で勉強の仕方を考え、工夫することが出来る児童生徒の割合 | 目標値 | — | → | → | → | → | → | 98.0% | |
| | | 実績値 | — | 88.4% | 88.4% | | | | | |
| | AIドリルの使用割合 | 目標値 | — | → | → | → | → | → | 98.0% | |
| | | 実績値 | — | — | 80.0% | | | | | |
| 1-4 豊かな人間性を育む学びの推進 | コミュニティスクールの開校数 | 目標値 | — | → | → | → | → | → | 3校 | |
| | | 実績値 | — | 0校 | 2校 | | | | | |
| 2-1 企業誘致や新たな雇用創出への支援 | 企業用地の整備 | 目標値 | 0㎡ | → | → | → | → | → | 10,000㎡ | |
| | | 実績値 | 0㎡ | 0㎡ | 0㎡ | | | | | |
| | 創業塾の受講者数 | 目標値 | 34人 | → | → | → | → | → | 50人 | 基準値はR2→R5の累計件数<br>目標値はR7→R11の累計件数<br>各年度の実績値は直近5か年の累計件数 |
| | | 実績値 | 34人 | 45人 | 43人 | | | | | |
| | 創業・継承件数 | 目標値 | 11件 | → | → | → | → | → | 15件 | 基準値はR2→R5の累計件数<br>目標値はR7→R11の累計件数<br>各年度の実績値は直近5か年の累計件数 |
| | | 実績値 | 11件 | 21件 | 20件 | | | | | |
| 2-2 ふるさと納税の推進 | 寄附金額 | 目標値 | 1,160百万円 | → | → | → | → | → | 2,000百万円 | |
| | | 実績値 | 1,160百万円 | 1,820百万円 | 1,940百万円 | | | | | |
| 2-3 地域の特色を生かした産業振興 | 新規就農者数 | 目標値 | 2人 | → | → | → | → | → | 12人 | 基準値はR2→R5の累計件数<br>目標値はR7→R11の累計件数<br>各年度の実績値は直近5か年の累計件数 |
| | | 実績値 | 2人 | 2人 | 4人 | | | | | |
| | ブランド化補助件数 | 目標値 | 61件 | → | → | → | → | → | 63件 | 基準値はR2→R5の累計件数<br>目標値はR7→R11の累計件数<br>各年度の実績値は直近5か年の累計件数 |
| | | 実績値 | 61件 | 85件 | 107件 | | | | | |
| | スマート農業補助件数 | 目標値 | 1件 | → | → | → | → | → | 2件 | 基準値はR2→R5の累計件数<br>目標値はR7→R11の累計件数<br>各年度の実績値は直近5か年の累計件数 |
| | | 実績値 | 1件 | 1件 | 2件 | | | | | |
| 3-1 移住・定住の促進 | マイホーム取得奨励金件数 | 目標値 | 108件 | → | → | → | → | → | 150件 | 基準値はR2→R5の累計件数<br>目標値はR7→R11の累計件数<br>各年度の実績値は直近5か年の累計件数 |
| | | 実績値 | 108件 | 155件 | 153件 | | | | | |
| | 町外転入加算対象件数 | 目標値 | 72件 | → | → | → | → | → | 100件 | 基準値はR2→R5の累計件数<br>目標値はR7→R11の累計件数<br>各年度の実績値は直近5か年の累計件数 |
| | | 実績値 | 72件 | 78件 | 70件 | | | | | |
| | 暮らし体験件数 | 目標値 | 158件 | → | → | → | → | → | 180件 | 基準値はR2→R5の累計件数<br>目標値はR7→R11の累計件数<br>各年度の実績値は直近5か年の累計件数 |
| | | 実績値 | 158件 | 176件 | 167件 | | | | | |
| 3-2 生活基盤の充実 | 分譲区画数 | 目標値 | 2件 | → | → | → | → | → | 50件 | 基準値はR2→R5の累計件数<br>目標値はR7→R11の累計件数<br>各年度の実績値は直近5か年の累計件数 |
| | | 実績値 | 2件 | 0件 | 2件 | | | | | |
| | 民間賃貸住宅建築件数 | 目標値 | 0件 | → | → | → | → | → | 5件 | 基準値はR2→R5の累計件数<br>目標値はR7→R11の累計件数<br>各年度の実績値は直近5か年の累計件数 |
| | | 実績値 | 0件 | 3件 | 3件 | | | | | |
| | 空き家バンク登録物件の成立件数 | 目標値 | 51件 | → | → | → | → | → | 75件 | 基準値はR2→R5の累計件数<br>目標値はR7→R11の累計件数<br>各年度の実績値は直近5か年の累計件数 |
| | | 実績値 | 51件 | 79件 | 79件 | | | | | |
| 3-3 スポーツ交流の推進 | スポーツイベント参加人数 | 目標値 | 1,503人 | → | → | → | → | → | 2,000人 | |
| | | 実績値 | 1,503人 | 324人 | 0人 | | | | | |
| 3-4 ふるさと観光の振興 | 観光客入込数 | 目標値 | 672,627人 | → | → | → | → | → | 800,000人 | |
| | | 実績値 | 672,627人 | 549,721人 | 561,889人 | | | | | |
| | 支援イベント参加者数 | 目標値 | 25,603人 | → | → | → | → | → | 30,000人 | |
| | | 実績値 | 25,603人 | 26,720人 | 26,346人 | | | | | |
| | ふるさと会の会員数（関東） | 目標値 | 342人 | → | → | → | → | → | 400人 | |
| | | 実績値 | 342人 | 340人 | 331人 | | | | | |
| | ふるさと会の会員数（関西） | 目標値 | 103人 | → | → | → | → | → | 150人 | |
| | | 実績値 | 103人 | 87人 | 84人 | | | | | |
| 4-1 災害に強いまちづくり | 指定緊急避難場所数 | 目標値 | 34箇所 | → | → | → | → | → | 40箇所 | |
| | | 実績値 | 34箇所 | 35箇所 | 35箇所 | | | | | |
| | 「防災・防犯情報」登録件数（LINE） | 目標値 | 1,361人 | → | → | → | → | → | 3,500人 | |
| | | 実績値 | 1,361人 | 2,051人 | 2,629人 | | | | | |

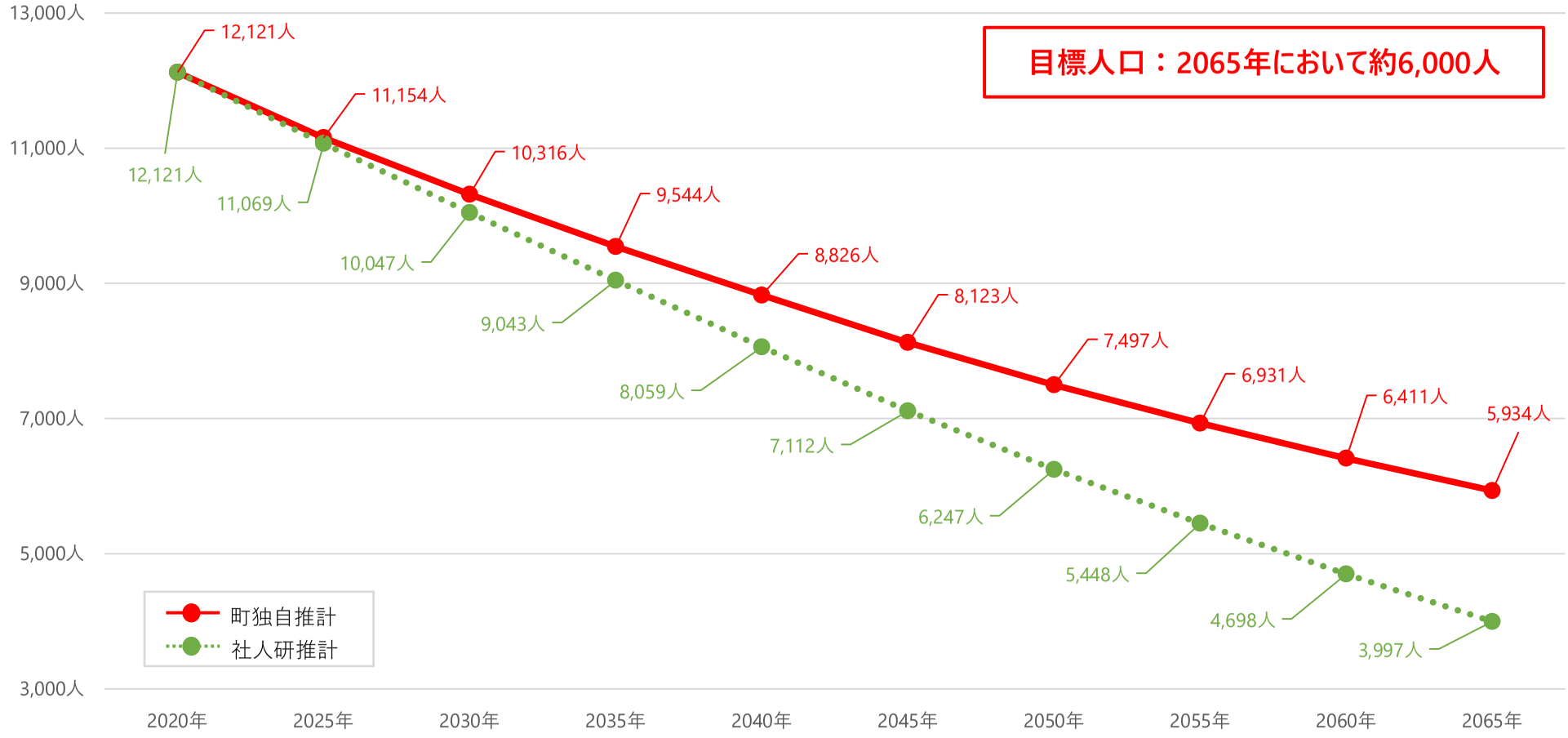
| 施策 | 重要業績評価指標（KPI） | | 基準値 | 参考値 | 計画期間 | | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | |
| 4-2 地域コミュニティの充実 | 防災士数 | 目標値 | 168人 | → | → | → | → | → | 220人 | |
| | | 実績値 | 168人 | 189人 | 221人 | | | | | |
| | デマンドタクシーの登録者数 | 目標値 | 359人 | → | → | → | → | → | 500人 | |
| | | 実績値 | 359人 | 346人 | 348人 | | | | | |
| 4-3 高齢者が安心して暮らせる環境の整備 | 要介護認定率の減少 | 目標値 | 18.0% | → | → | → | → | → | 17.5% | |
| | | 実績値 | 18.0% | 18.0% | 17.9% | | | | | |
| | 介護予防教室参加者のチェックリスト改善率 | 目標値 | 34.0% | → | → | → | → | → | 50.0% | |
| | | 実績値 | 34.0% | 33.3% | 44.4% | | | | | |
| 4-4 健康づくりの推進 | 健診受診率 | 目標値 | 54.2% | → | → | → | → | → | 60.0% | R7実績値は暫定値 |
| | | 実績値 | 54.2% | 50.9% | 52.9% | | | | | |
| | 特定保健指導率 | 目標値 | 66.7% | → | → | → | → | → | 80.0% | R7実績値は暫定値 |
| | | 実績値 | 66.7% | 79.7% | 70.0% | | | | | |
| 4-5 循環型まちづくりの推進 | 住宅用太陽光発電システム等補助金交付件数 | 目標値 | 37件 | → | → | → | → | → | 60件 | 基準値はR3→R5の累計件数<br>目標値はR7→R11の累計件数<br>各年度の実績値は直近5か年の累計件数 |
| | | 実績値 | 37件 | 38件 | 46件 | | | | | |
| | 温室効果ガス削減率（①町施設） | 目標値 | △24.2% | → | → | → | → | → | △50.0% | 基準値はR4<br>R7実績値は9月頃に確定 |
| | | 実績値 | △24.2% | △38.6% | 調査中 | | | | | |
| | 温室効果ガス削減率（②町全域） | 目標値 | 未策定 | → | → | → | → | → | △46.0% | 地球温暖化対策実行計画の策定後に実績値の調査開始予定 |
| | | 実績値 | 未策定 | 未策定 | 未策定 | | | | | |
| 5-1 情報発信力の強化 | 宝達志水町公式ホームページへのアクセス件数 | 目標値 | 445,643件 | → | → | → | → | → | 600,000件 | |
| | | 実績値 | 445,643件 | 376,142件 | 377,257件 | | | | | |
| | 町情報ツールの登録者数 | 目標値 | 3,571件 | → | → | → | → | → | 6,000件 | |
| | | 実績値 | 3,571件 | 3,750件 | 4,630件 | | | | | |
| 5-2 地域社会のデジタル化の推進 | コンビニ交付発行件数 | 目標値 | 2,682件 | → | → | → | → | → | 4,600件 | |
| | | 実績値 | 2,682件 | 2,809件 | 3,011件 | | | | | |
| | 住民サービス向上DX対応業務数 | 目標値 | 4件 | → | → | → | → | → | 15件 | |
| | | 実績値 | 4件 | 9件 | 11件 | | | | | |

参考資料２

# 人口等の推移

# 人口等の推移

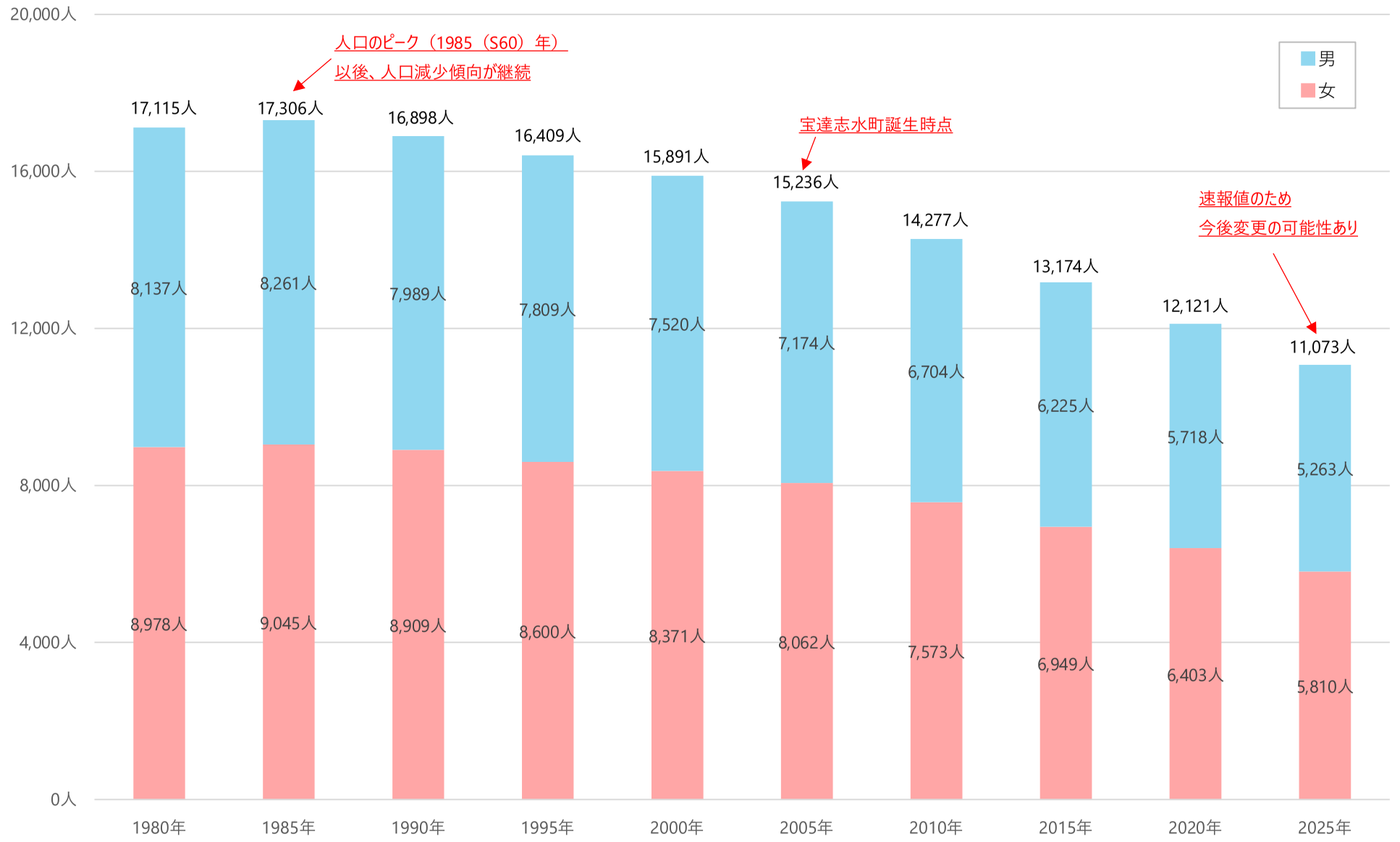
## 1　第3期人口ビジョンにおける人口の将来推計




※町独自推計
　合計特殊出生率…2025年以降1.35、2040年以降1.8
　移動（転出入）…2035年以降で均衡

※社人研推計
　国立社会保障・人口問題研究所による令和5年公開の推計値

## 2　人口の推移（国勢調査人口）

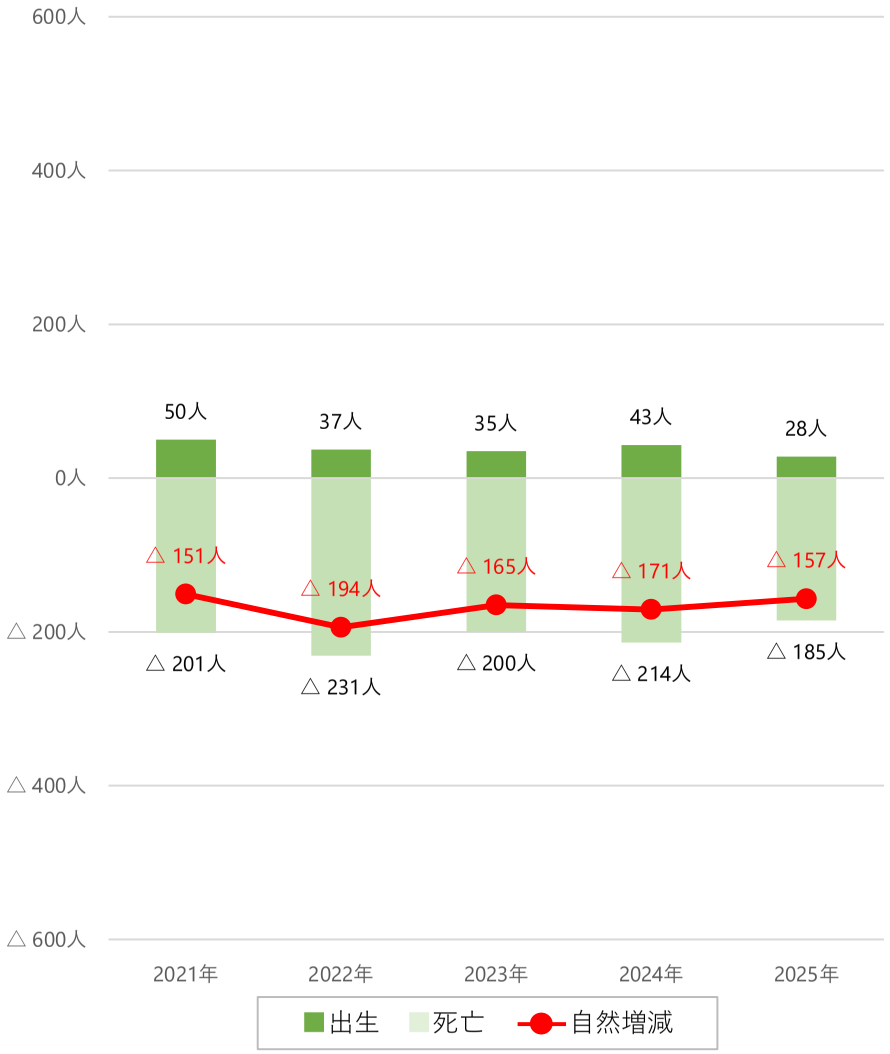



※2025年は国勢調査の速報値であるため今後変更の可能性あり

（出典：国勢調査）

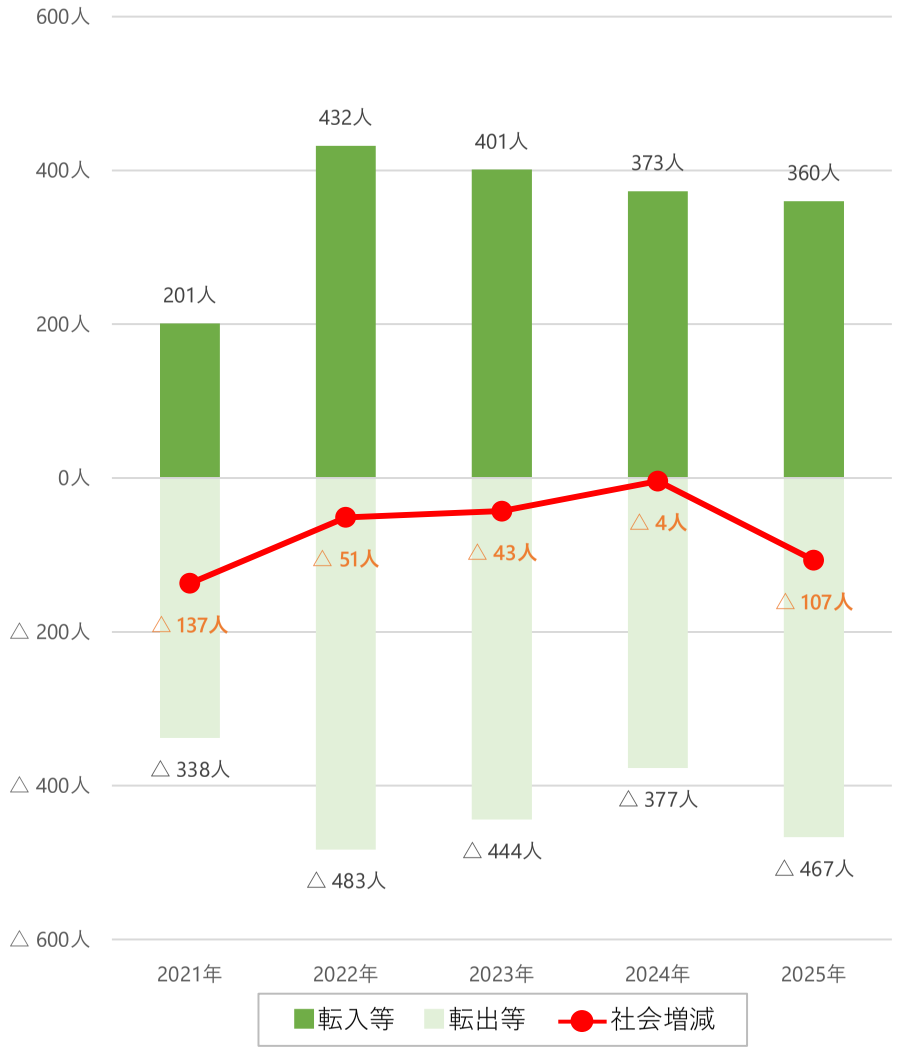
## 3　人口動態の推移（住民基本台帳人口）

### (1) 自然増減（出生･死亡）




（出典：住民基本台帳）

### (2) 社会増減（転入･転出等）




（出典：住民基本台帳）